

相模原商工会議所 景気観測調査結果 (令和6年10月～12月)

製造業の回復傾向が続いている一方、小売業・卸売業の景況が悪化しており、全体としては景況は若干の悪化気味である。次期は回復に向かうとみられている。

ポイント

- ▶ 令和6年10月～12月期の総合業況DIは▲24と、前期▲19から5ポイントの悪化であった。製造業（前期▲20・今期▲18）が小幅の改善であったが、飲食業・サービス業（前期▲17・今期▲21）と建設業（前期▲17・今期▲24）がやや悪化、小売業・卸売業（前期▲26・今期▲40）が大幅に悪化した。
- ▶ コメントによると、消費者向けのビジネスにおいて、消費マインドがなかなか戻らず厳しい状況が続いているようである。事業者向けのビジネスは安定しているようだがコスト高の影響が大きい業種は苦しいようである。
- ▶ 次期見通しについては、総合業況DIは▲19と、今期▲24から5ポイントの回復の見込み。製造業（今期▲18・次期▲14）は引き続き改善の見込みで、飲食業・サービス業（今期▲21・次期▲19）と建設業（今期▲24・次期▲23）はほぼ変わらず、今期落ち込んだ、小売業・卸売業（今期▲40・次期▲25）は、悪い状況は長くは続かず、前期並みまで回復するとみられている。

各業界から寄せられたコメント

【半導体製造装置設計】

ウィンドウズ11への移行に伴い、パソコンの買い換えで設備投資が増える。

【エクステリア 外構工事】

エネルギーコスト上昇や運送会社等の労働規制の影響もあり、全ての資材費や残土処分費などが15%から20%アップしている状況。

【コンビニエンスストア】

個人の消費意欲は年金生活者を中心に特に悪い。年々上がる最低賃金により経費も上がり厳しい経営状況です。

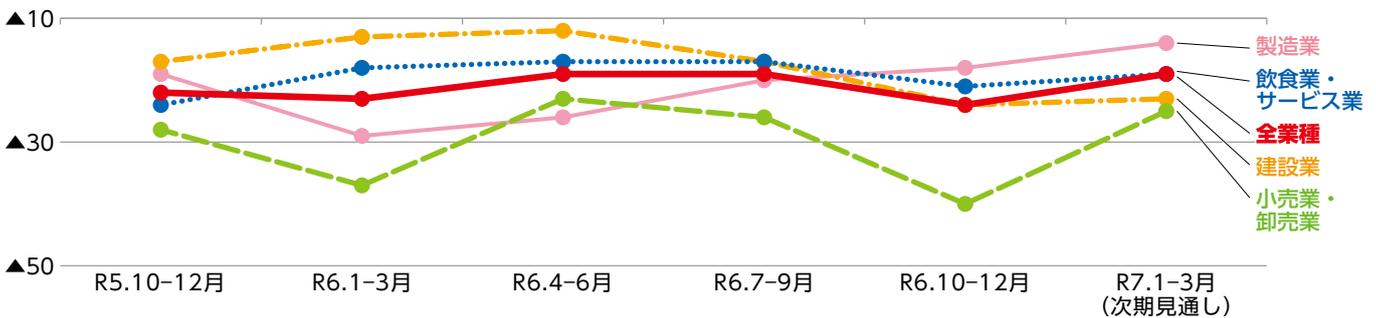
【一般理美容】

来店サイクルが長くなった。そのため月間客数が減った。輪をかけて仕入れ単価が上がり、電気、ガス料金も上がったため最悪です。

【構内請負・製造派遣】

国内回帰の企業が増えそうな景況であり、需要がありそうです。

業況別（総合判断）DI値の推移



	前年同期概況 (R5.10-12)	前々々期概況 (R6.1-3)	前々期概況 (R6.4-6)	前期概況 (R6.7-9)	今期概況 (R6.10-12)	次期見通し (R7.1-3)
製造業	▲19 ☁️	▲29 ☁️	▲26 ☁️	▲20 ☁️	▲18 ☁️	▲14 ☁️
建設業	▲17 ☁️	▲13 ☁️	▲12 ☁️	▲17 ☁️	▲24 ☁️	▲23 ☁️
小売業・卸売業	▲28 ☁️	▲37 ☔️	▲23 ☁️	▲26 ☁️	▲40 ☔️	▲25 ☁️
飲食業・サービス業	▲24 ☁️	▲18 ☁️	▲17 ☁️	▲17 ☁️	▲21 ☁️	▲19 ☁️
全業種 (総合)	▲22 ☁️	▲23 ☁️	▲19 ☁️	▲19 ☁️	▲24 ☁️	▲19 ☁️

業況天気図例	快晴	晴れ	薄曇り	小雨	雨
	☀️	☀️	☁️	☁️	☔️
	DI値 31以上	DI値 30～11	DI値 10～▲10	DI値 ▲11～▲30	DI値 ▲31以上

<<景気観測調査>>
前年度同時期との景況を比較し、「良い/悪い」などの指標を数値化し景気動向を調査。「良い」の回答数の割合から「悪い」の回答数の割合を引いて算出した数値（DI値）を用いる。

調査期間：令和6年10月1日～12月31日

回答率：22.9%

回答者数：834件

調査対象：当所会員事業所3,644事業所

中小企業診断士による分析結果およびご活用いただける支援策等をまとめた詳細データは、当所ホームページに掲載しております。

<https://www.sagamihara-cci.or.jp/services/jouhou/keiki>

データの郵送をご希望される方は、総務課（☎042-753-8131）までご連絡をお願いいたします。

